

埼玉県立大学 2022年度後期授業評価・学修成果アンケート 集計結果

履修者数	15809
回答者数	4516

集計	全体
----	----

在籍年次: 1年次 2275 2年次 1262 3年次 822 4年次 157

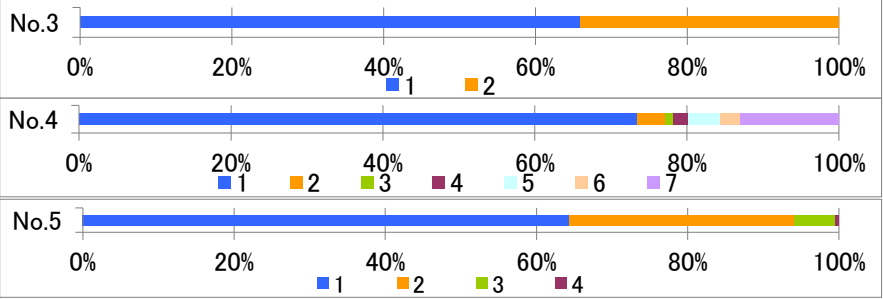
学科・専攻 看護 1651 理学 191 作業 365 社福学 734 子ども学 259 行動 582 検査 219 口腔 517

分類	No.	評価項目	回答数						
			1	2	3	4	5	6	7
履修の理由	3	この授業は必修ですか、選択ですか(1. 必修 2. 選択)	2967	1540	—	—	—	—	—
	4	(選択の場合)この授業を選択した主な理由を選んでください (1. 関心があった 2. 教員の魅力 3. 教員の勧め 4. 先輩の勧め 5. 友人が多く履修 6. 単位が取りやすそう 7. この時間帯はこの科目のみ)	1393	71	19	38	79	50	247
出席状況	5	この授業の欠席回数は(1. 0回 2. 1～2回 3. 3～4回 4. 5回～)	2901	1342	248	20		—	—

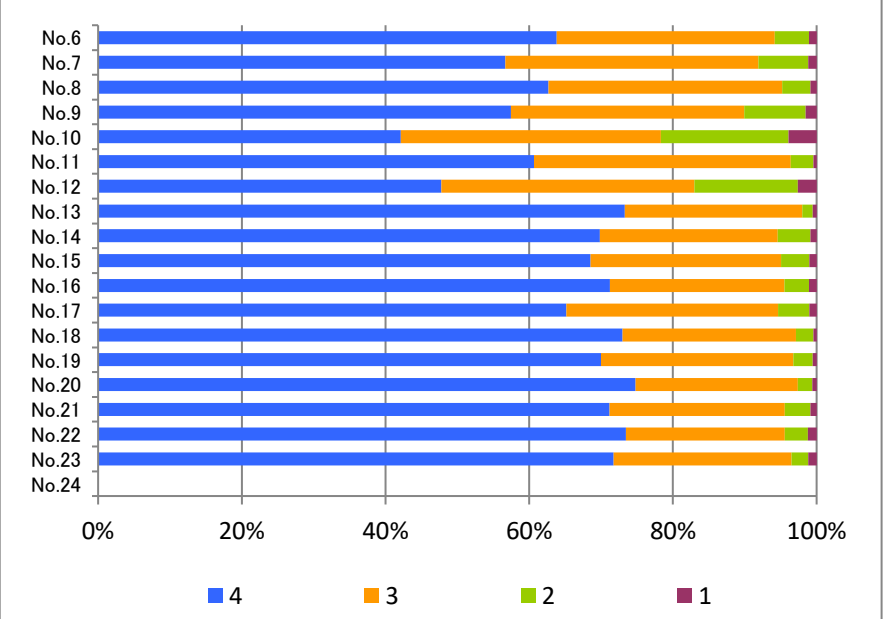
分類	No.	評価項目	回答数					当 平 該 均 科 目
			4 そう思う	3 やや そう思う	2 あまりそう 思わない	1 思わない	0 該当しない	
学修状況・学修成果 について	6	この授業での学びによって、保健医療福祉の分野において、対象者を多角的に理解する資質・能力を身につけると共に、高い倫理観を備えることができましたか。	2873	1364	214	49		3.6
	7	この授業での学びによって、日常の社会生活における客観的かつ批判的な思考(critical thinking)を身につけることができましたか。	2550	1584	312	52		3.5
	8	この授業での学びによって、場面に応じた適切な判断力・多角的な視点からの課題へのアプローチ等、様々な課題に対応することのできる専門的かつ総合的な視点を身につけることができましたか。	2819	1462	177	39		3.6
	9	この授業での学びによって、多様な人々とコミュニケーションを図りながら連携する能力や、ライフステージに応じた人々の健康と生活を統合的に支える活動に取り組む力を身につけることができましたか。	2589	1461	386	69		3.5
	10	この授業での学びによって、国際的な視野を持ちながら、地域における保健医療福祉の諸問題へ持続的に取り組める資質・能力を身につけることができましたか。	1896	1628	800	176		3.2
	11	この授業を熱心に受講した。	2729	1608	142	20		3.6
教員や授業について	12	授業時間外でも、この授業に関連する学習に取り組んだ。	2153	1588	650	117		3.3
	13	教員はシラバスを意識した授業を展開していた。	3302	1112	65	25		3.7
	14	授業の進度と分量は適切であった。	3147	1115	205	39		3.6
	15	授業の内容は、興味や関心を持てるものであった。	3090	1195	178	46		3.6
教材・ICT機器について	16	教員の話し方や伝え方は適切であった。	3209	1093	153	49		3.7
	17	教科書等の教材類は役に立った。	2381	1075	159	37	856	3.6
	18	スライド掲示等の教具使用は効果的であった。	3123	1034	102	20	228	3.7
	19	パソコン等のICT機器は学修を進める上で効果的であった。	2457	939	95	19	985	3.7
学修環境・遠隔授業について	20	学修しやすい受講環境(通信環境含む)が保たれていた。	3366	1017	89	28		3.7
	21	温度・照明・音響・映像等の物理的環境は良好であった。	3198	1094	162	38		3.7
	22	遠隔授業は有効であった(遠隔授業が含まれていた場合)。	1397	421	61	23	2540	3.7
満足度	23	総合的に評価して、満足できる授業であった。	3226	1114	105	52		3.7
								0.0

評価帯グラフ

①設問No.3～5



②設問No.6～No.24



平均比較レーダーチャート(設問No.4～No.24)

